

What's Up?

March 2019

目次

- p.1 学校長の言葉・行事予定
- p.2 2年研修旅行（オーストラリア・ハワイ）
- p.3 国内・海外研修・国際交流
- p.4 千里高校の特色ある授業
- p.5 千里フェスタ紹介
- p.6 SGHの取組
- p.7 SSHの取組
- p.8 外国人スタッフ・留学生・最新機器・設備等



高い志を胸に文・理両方の学力と専門性を高め、時代を切り拓く国際人をめざそう！

千里高校の教育方針

本校は1967年に市内65番目の普通科高校として開校し、2016年度に創立50周年を迎えました。教育方針は「真理と正義を愛する人間の育成、浄く直く明るい性格の陶冶」「信頼と敬愛の上に立つ人間の育成、人間のふれあいを通じての情操の陶冶」です。

国際教育とICT機器の活用

本校の国際教育は、1990年の国際教養設置以降の実践と「スーパー・イングリッシュ・ランゲージ・ハイスクール（SELHi）の指定（2002～2004年度）を受け、開発した指導法が基礎となっています。特にこの時期に英語教育はコミュニケーション能力をより向上させるための指導法を開発するとともに、普通科を含むすべての英語の授業の指導法を統一しました。指導法については、4技能を重視するとともに、ICT機器の積極的な活用を図りました。現在はすべての生徒にタブレット端末を購入してもらい、それを活用した反転授業にも取り組んでいます。このICT機器の活用は他教科にも波及し、

様々な教科・科目でタブレット端末を活用した授業が展開されています。普通教室にもWi-Fiの環境が整備され、大型ディスプレイや短焦点プロジェクターで映像が見られます。

専門高校への改編と新たな挑戦

本校は2005年に国際文化科と総合科学科より構成される専門高校に改編されました。改編に伴い、以下の目標を掲げ、より充実した指導法の研究に着手しました。

- より多くの生徒が高い水準の国際性と語学力を獲得するための指導法
- 総合科学科における指導法
- 文・理両方の基礎的学力の定着とそれぞれの専門性を高める指導法

それに伴い、2010年度には文部科学省から理数系のスーパーサイエンスハイスクール（SSHは2017年度に2期目の指定を受託）、2015年度からは文系のスーパーグローバルハイスクールの指定を受けています。その豊かな資金力も活用した結果、進学実績はもとより、課題研究の質が向上しました。次期学習指導要領で

は思考力・判断力・表現力が重視され、答えが一つではない課題に対して個人が多様な人々と協働してあらたな価値を創造する力が求められています。本校では文・理学科ともに1年生より課題研究を課し、時代が求める力の育成を図っています。

高い志を胸に豊かな人間性と高い学力を培い、次代を担う国際人をめざそう！

本校には長短期の交換留学生が多数学び、本校からも多くの生徒がニューヨークや台湾等の海外へ研修・留学の機会を得ています。2年生で行う研修旅行（修学旅行）については今後もオーストラリア等の国外での学習を継続して実施します。みなさんにはこのような環境を十分、活用し、海外の文化や歴史について学び、国際的な課題を多様な人々と協力し、解決してほしいと願っています。世界のさらなる繁栄と安寧に貢献し、次代を切り開く国際人へと飛翔することを期待しています。

校長 天野 誠

2019年度国際交流・海外研修・高大連携の主な行事予定

	国際交流／海外研修	国際理解／国内研修	高大連携他
6月		海外大学進学説明会	
7～8月	アントレプレナーシップ研修(アメリカ) 高雄共同研究研修(台湾)	SSH北海道研修 文化科SGHフィールドワーク SSH生徒研究発表会	国際交流のつどい(関西学院大) Future Global Leaders' Camp(阪大) 大阪市大理科セミナー
9～11月	文化科SGH企業訪問 文化科コリブリ交流(フランス)受入 国立中科実験高級中学(台湾)交流受入	大阪サイエンスデイ(第1部) 科学の甲子園	Innovators' Squad(阪大) 京都大学防災研究所研修
12月	2年文化科研修旅行(オーストラリア) 2年科学科研修旅行(オーストラリア) SSH台湾科学研修	文化科SGH全国高校生フォーラム 大阪サイエンスデイ(第2部)	
1～2月	文化科SGHニューヨーク研修	1, 2年国際理解教養講座	インターナショナルフェスティバル(府立 高校国際関係学科設置校)

2年研修旅行 2年生の12月に海外研修旅行（修学旅行）を実施しています

国際文化科研修旅行（オーストラリア）

ホームステイ

ホームステイでは観光客としてオーストラリアに来るだけでは学ぶ事ができないオーストラリアの家庭での生活習慣や文化を学ぶことができました。また、自分の英語がどの程度通じるのか試せる実践的な機会でもあり、今後の英語学習に役立つ良い経験となりました。はじめは緊張していましたが、一緒に食事をしたり、ショッピングに出かけたりする中で打ち解けることができ、実践的な英語に触れることができました。オーストラリアの人はとてもフレンドリーだったので積極的に英語を話す事ができ、このホームステイは自分を成長させてくれる良い経験となりました。

2年 三村優菜



学校交流

4クラスを2クラスずつに分けてペノワ高校とロビーナ高校を訪問しました。英語の授業を体験したり、先住民のアートを学んだり、スポーツをしたりと現地の生徒との交流を深めました。私たちは各クラスで用意したダンスやソーラン節を披露しました。オーストラリアの高校は昼食とは別にティータイムがあり、お菓子やアイスクリームを食べる時間がありました。この時間は疲れた身体をリフレッシュできるいい時間だと思うので、日本の高校でも取り入れてほしいです。短い時間でしたが、現地の生徒からコミュニケーションの大切さを学びました。例えばスピーキング力が乏しくても、黙り込んでしまわずに話そうとすることで、相手も一生懸命聞いてくれることがわかりました。

またピコ太郎のP P A Pを歌いながら踊ると、一緒に踊ってくれました。言語でのコミュニケーションが難しくても、歌で乗り切れると思いました。

2年 西村江里菜



アクティビティ

私は海コースを選択しました。2つのチームに分かれ、まず、ビーチのルールの説明がありました。その後は、ボディーボードとサーフィンを体験しました。私のチームはボディーボードが先だったので、波に乗るコツをつかんでからサーフィンに挑戦することができました。インストラクターから乗り方やコツなどをビーチで説明してもらい、海の中では一対一でアドバイスをもらうことができました。そのおかげでちょっとずつ上達し、最後のほうには立っている人がちらほらいました。私も立てたので嬉しかったです。大阪ではあまり体験することのないものだったので

すごくいい経験になりました。

2年 田中理歩



総合科学科研修旅行（ハワイ）

マウナケア星空観察

マウナケアの標高約2000mにある、マウナケアステートパークにて星空観察を行いました。山の上はとても寒かったのですが、天の川や大きな流れ星を観測することができ、その他にも日本では見られないような星空を肉眼で見ることができました。星が流れたときには大きな歓声がありました。ガイドさんに望遠鏡を設置していただき、土星の観察もしました。また、ハワイ島を発見した歴史や天の川、12星座について説明していただきました。お話はとても興味深く、みんな感心して聞いているようでした。

また、星空を観測する人のために、ハワイ島の住民の協力がなされていることを学びました。今回の星空観察はとても良い機会になりました。

2年 森未来・横山葵



スバル天文台山麓施設

国立天文台が建設したハワイ島マウナケア山頂のすばる天文台にある可視光線・赤外線を観測する望遠鏡には、地球の大気のゆらぎを検出し、瞬時に補正する補償光学装置が搭載されています。私たちは、すばる望遠鏡で観測した

データを受信・解析する山麓施設に行き、話を聞きました。星に関する様々な興味深い話、すばる望遠鏡の模型を用いた解説など、天体に興味がある人はもちろん、ない人にとっても一度は聞いておきたいと思える内容になっていました。また、話をしてくださった天文学者の方が見つけたという星の画像も見せていただけて、天体に興味をかきたてられる貴重な機会となりました。

2年 田畑颯基

パールシティー高校交流会

パールシティー高校は学校の敷地がとても広く、芝生でできた大きいグラウンドなど、日本と違いたくさんの施設がありとても驚きました。また、本場のフラダンスを見せてもらいました。ゆったりしたものだけだと思っていたけれど、迫力のあるものもあってとてもきれいでした。フラダンスの体験もさせてもらい楽しかったです。そして、初めは少し緊張してあまり話せなかったハワイの高校生と一緒に食堂で昼食を食べたり、ゲームで遊んだりしているうちに仲良くなることができました。とても楽しい時間を過ごすことができ、良い思い出になりました。また、この

交流会でハワイの高校生と話していて、自分の英語力不足を感じたので、英語をもっと勉強しなければいけないと思いました。2年 岡本南美・岡田瑞生



国内・海外研修・国際交流

ボストン・アントレプレナーシップ研修(7/20~29)

アントレプレナーシップとは、事業創造や新商品開発などに高い想像意欲を持ち、リスクに対しても積極的に挑戦していく姿勢や発想、能力などを指す起業家精神という意味です。今回のテーマは、ペルソナ(想定される顧客)が困っていることを解決する物を創造するというものでした。日本では、ペルソナを決め、問題について追求していきました。アメリカでは、現地の起業家の講演を聞き、課題解決のためのデザイン思考というプロセスを学び、課題解決のためにグループワークを進めていきました。私の班は課題設定がしっかりと定まっていなかったり意見がまとまらなかったりで、少し苦戦していました。しかし、みんなで課題の問題についてのプレゼンをした後は、達成感でいっぱいでした。この研修で、私は課題設定や目標をはじめにしっかりと定めておくことが大切であることを改めて学びました。そして、自分以外の人たちの考えや意見を聞いて、広い視野を得ることができたと思います。

2年 家郷華乃子



カリフォルニア交流受け入れ(6/6~6/20)

カリフォルニア交流受入はアメリカのカリフォルニア州の学校に通う生徒を2週間程ホストファミリーとして受け入れ、一緒に千里高校に通うプログラムです。また学校と一緒に通うだけではなく休日には他の留学生とホストファミリーで奈良県に遠足に行ったり、4校合同の歓迎会があったり、たくさんの楽しいプログラムがありました。



また私の家ではチキンラーメン記念館、エキスポ、ラーメン屋、回転寿司、焼き肉等に行ったり、たこ焼きパーティーや友達を呼んでのお泊り会をしたりしました。最初は自分の英語力に全く自信がなくホストファミリーとして上手くやっていたのか本当に不安でした。ですが、私の家に来てくれた留学生はととても優しくて明るくて不安に思っていたことはすぐに忘れ、仲良くなり楽しい時間を過ごすことができました。留学生は勉強熱心で日本に興味があり、私が留学生に漢字や折り紙を教えるととても喜んでくれました。私もアメリカのことについてたくさん教えてもらえて、日本との違いを実感しました。自分の家に留学生がいるという今まで経験したことのない状況で毎日が新鮮でとても有意義な2週間を過ごすことができました。1年 北澤美桜

フランス・コリブリ交流(10/16~11/5)

コリブリ交流は、10月にフランスの高校生を3週間ホストファミリーとして受け入れ、共に千里高校に通い、3月にはそのフランスの高校生のお宅にホームステイして、共に現地の高校に3週間通うという交換留学プログラムです。私が受け入れた生徒の日本語力はあまり高くないと感じていました。ですが、だからこそ私は沢山の日本語を教えることができ、彼女も多くの日本語を学ぶ良い経験になったと思います。私も彼女が日本語を学ぶ姿を見てフランス語の勉強をより一層頑張ろうと思いました。間違いなくまたとない良い経験になるので、少しでもフランスに興味のある方はぜひ挑戦してください。2年 清原咲良



さくらサイエンスプログラム(10/14~21)

このプログラムは、台湾の高校生をホストファミリーとして受け入れるものです。一緒に授業を受けることはほとんどありませんが、家での日常をともに過ごします。その中で台湾と日本の文化の違いも知ることができました。また、伝えられる自信がないからとコミュニケーションを避けるのではなく、積極的に話しかけることが大切だと感じました。お互い使い慣れない英語でしたが、笑顔の絶えない4日間でした。英語に自信がない人でもぜひ参加してみてください。2年 森分志帆

SSH台湾研修(12/24~28)

日本と同じく地震の多い台湾でそれを象徴する2つの場所を訪れました。1つは日本統治時代に造られた鉄道橋が地震で損壊した現場です。日本は台湾の南北をつなぐためこの鉄道橋を造りましたが1935年の地震で損壊、断橋となりました。今でも当時のままの姿で地震の怖さを伝えてあります。もう1つは921地震園で、小学校の真下に断層があり、盛り上がったグラウンド、校舎が激しく損壊し1階が完全に見えない状態を見学しました。最終日に訪れた台湾大学では今回の研修の集大成として地震のメカニズムや、世界中で起こった地震について学びました。台中市では、中部サイエンスパークを見学しました。たくさんの発明品の中からミルクコーヒを入れるロボットを見学しました。作業の流れをすべてロボットが行い、ハート型のラテアートも作ります。人間相手に囲碁を打つロボットもありました。滞在中、通った中科実験高等中学では中国語、数学、英語の授業とドローン进行操作する取り組みに参加しました。現地の学校のみならず様々な課題に取り組めたのは嬉しかったです。3泊のホームステイでは日本でいう居酒屋に連れて行ってもらう、食事をご馳走して頂きました。ホストファミリーはととても親切でいつも気にかけて接してくれました。僕はこの研修に参加し、たくさんの人と出会いさまざまな視点に触れることができました。この経験はこれからの生活に役立つと思います。1年 福瀬瑛士



千里高校の特色ある授業

第二外国語（中国語）

中国語の授業では、単語や文法、日常会話などを学んでいます。習いたての頃は発音の難しさに驚きましたが、先生がわかるまで丁寧に教えてくれるのですぐ



に習得することが出来ました。授業に慣れてくると先生の発音を聞き取り、コミュニケーションを取れるようになるので嬉しいです。夏休み前に中国茶パーティーをしたり、クリスマス前にはとても楽しいイベントも行われました。また、中国からの留学生を招いて一緒にカードゲームを楽しむこともできました。皆さんも世界の多様な言語に触れてみませんか？

2年 岡田菜央

第二外国語（フランス語）

この授業では、教科書だけでなく歌や詩、身近なフランス語も学びます。日本語にはない独特の発音もあり難しいですが、たくさん音読や暗唱をして身に付けていきます。誕生日が近い日には皆で歌って祝います。学んでみると、日本でもお菓子の名前や洋服店の袋など、身の回りでたくさんフランス語が使われていることに気が付きました。フランスが突然身近に感じられ、世界が広がった気分になります。楽しいフランス語の授業をぜひ皆さんも受けてみませんか。

2年 森分志帆



※第二外国語は、この他に韓国朝鮮語、ドイツ語、スペイン語があり、国際文化科2・3年生が履修します。

2年時事英語

In the Current Topics class, we use BBC news to learn about things that are happening currently in the UK and in the world. There are about 20 students with an NET (Native English Teacher) and a Japanese teacher. In one unit, we start by learning new vocabulary. Then, we use these words to fill in the blanks of the script of the news while watching the news. At first, it was difficult for me to hear what newsreaders said, because I was not used to British English and they spoke very fast with lots of new words, but after learning 2 or 3 units, I found I could understand it better and became more confident. After listening, teachers give us a comprehension sheet to understand the content more deeply.

Besides, we have a discussion with 3 to 4 group members. We can express our thinking and learn about many different opinions. As with other subjects, we also have homework and tests. For homework, we choose a news topic from an English newspaper by ourselves and summarise it and write our opinions in English. The NET corrects them so that we can find out what we are missing and make them better next time. This is a class where you can learn high-level English, so it's a difficult one. However, it's also a class with a friendly atmosphere, so you can ask questions easily. To me, Current Topics is the class most worth taking and I hope many students will join in and spend a meaningful time!!

2年 二宮祐美

2年 Global Communication

Global communication is not a class where the teachers speak for the whole class and the students just take notes. The aim of this class is to learn to communicate in English and to debate. Therefore, in this class, we actually have many opportunities to practice communicating in English. In the first semester, we learn the techniques for debate and how to express our opinions logically. We also have a listening quiz every week to improve our listening abilities. In the second semester, we actually practice debating by using the skills we have learned. Each week we are assigned a new topic and a new debate team. In order to win a debate, it is necessary to know so much about the topic, and it requires a lot of preparation. Although it is really hard, I think debating can help us improve our speaking and listening skills and to know more about the current events of the world. I think this is a class which you can only take at Senri. Why don't you come to Senri and improve your English skills through debate!

2年 池田純

3年 Topic Studies

Topic Studies was a wonderful class for me. Thinking about how to solve the world problems with my classmates was so exciting. The atmosphere of the class was very calm, so it was easy for me to convey my opinions. I learned about various world issues, such as the problems of refugees, the gender gap, and global warming. The project that impressed me most was the Model United Nations. I became a U.S. representative for the United Nations, and I



made a draft resolution to reduce nuclear weapons. It was not easy for me to negotiate with and convince other representatives, but seeing the issue from the standpoints of other countries, we were able to look at the problems from many perspectives. This year, there were only 16

students in this class, but I was able to tackle world issues with my classmates. Through this class, I became more interested in global issues. I would like to learn more after I get into university. I am glad that I chose this class. 3年 石橋夏帆

千里フェスタ

第14回千里フェスタは、2月7日(木)オープニング・8日(金)プレフェスタ・9日(土)公開日に本校で開催され、1年間の授業・課題研究の成果が発表されました。公開日当日は、保護者の方をはじめ、近隣の中学生や本校卒業生、教育関係者の方々も多く参加され、下記の口頭発表、セッション、ディベートの他にもSGH、SSHの国内・海外研修、1年「探究基礎」「科学探究基礎」、国際文化科2年「生活科学」などの成果を展示・掲示しました。

国際文化科2年「探究」 □口頭発表(SGH 生徒研究発表会・分科会)

TOEFL 探究

「探究」では、「人権」「環境」「労働」「教育」「グローバリゼーション」の5つのテーマの講座にわかれて課題研究を進めており、110グループが研究の成果を発表しました。「TOEFL 探究」では、関心のある社会問題について調べた事と自分なりの解決策を全て英語で発表しました。

総合科学科2年「科学探究」 □口頭発表(SSH 生徒研究発表会・分科会)

「科学探究」では、数学・情報・物理・化学・生物・スポーツ科学の各系(43グループ)にわかれて課題研究を行いました。外部の発表会にも積極的に参加しました。

国際文化科1年「探究基礎」 □ディベート

現実の課題を多面的に理解し、現実的な解決策を提案する力をつけるために、「探究基礎」の時間にディベートに取り組んでいます。千里フェスタでは、代表チームが次のテーマで対戦しました。「外国人労働者が安心して暮らせるような受け入れは可能か」「消費税アップでコンビニイトイン10%はスムーズに行えるか」「18歳成人で20歳未満が親の承諾なしにローンを組むことは是非かか

総合科学科1年「科学探究基礎」 □口頭発表

「科学探究基礎」では、科学の実験や観察、データの処理、論文の書き方など、研究を進める上で必要となる技能や方法を身に付けます。情報分野の課題として、自分の興味ある科学的なテーマについて、インターネットなどで調べ、発表する「科学プレゼン」を行いました。

国際文化科2年「グローバル・コミュニケーション(GC)」 □ディベート

英語の科目「GC」で、現在の地球的問題について英語でディベートを行っています。千里フェスタでは代表チームの対戦を公開しました。

“Japan is a place where young people can establish successful lives.”

(日本は若者が成功できる国だ)

“The World Expo 2025 and legalizing casino gambling will benefit the economy of Osaka.”

(2015年の万博とカジノ合法化は大阪の経済を活性化するだろう。)

“Japan’s new immigration laws will have a positive effect on Japanese society.”

(入管法改正は日本社会に良い影響を与えるだろう)

“We should be proud of Japan’s current work culture.”

(我々は日本の現在の労働文化に誇りを持つべきだ)



スーパーグローバルハイスクール (SGH) の取組

SGH は、文部科学省が平成 26 年度に始めた事業です。目的は「グローバル・リーダー育成に資する教育を通して、生徒の社会課題に対する関心と深い教養、コミュニケーション能力、問題解決力等の国際的素養を身に付け、将来、国際的に活躍できるグローバル・リーダーの育成」です。本校は平成 27 年度に指定を受けました。グローバルな課題を理解し、解決策を提案していける力の育成を目指して、従来から行ってきた課題研究の授業を進化・発展させるための取組を積極的に展開しています。このページでは、このうちの一部を紹介します。さらに詳しくは、本校 SGH のサイトをご訪問ください。



国際問題の若手研究者から学ぶ！ 1 年国際文化科講演会 (7/6)

『暴力と戦う規範を育てる』。「平和的な共存」の対極にあるのが「暴力による抑圧」。この暴力と戦うための武器となるのが国際的な「規範」です。このような規範を市民と企業がどのように育てるか。その意義と可能性が今回の講演のメインテーマです。講師には、大阪大学国際公共政策研究科(OSIPP) 博士後期課程 1 年生の猪口絢子さんをお迎えしました。猪口さんは、上記のテーマを研究課題として、ルワンダでの現地調査を敢行されました。今回は、①研究の紹介、②暴力の抑制のために企業ができること、市民ができること、③留学の経験についてお話いただくようお願いしました。



<講演後のアンケートから>

・いつもテレビで見ているだけの狭い範囲でしか世界を知らないし、本当にわかっていないんだと思い、衝撃を受けました。／・条約や国際的なルールが何のためにあるのかを、今まで知りませんでした。批判や説得のための根拠になり、そのおかげで救われる人がいると知って、より興味が湧きました。／・私は、将来、発展途上国で先生になりたいと思っていました。しかし、それには勉強量もすごく多くなるし、自分には無理だと思っていましたが、お話を聞いて私も猪口さんのような人になりたいと思うことができました。

地元にある「国際問題」を学ぶ！ Glocal フィールドワーク研修 (7/31-8/2)

最初の 2 日間は、とよなか国際交流協会・茨木モスク・コリア国際学園を訪れ、大阪で暮らす異なる宗教・出身・民族・学校の人々と出会う機会を持ちました。最終日は、校内で「ダイバーシティって何だろう？」ワークショップの後、国連女性開発基金(現 UN Women) 元職員の三輪敦子さんに、国際的なリーダーに求められる資質について、ご自身の経験を紹介しながら話していただきました。研修の内容は、10 月の『探究基礎』初回授業でクラスごとに報告しました。



企業・大学訪問研修 (10/4, 5)

企業の社会的責任(CSR)・国際協力・「しごと」について学ぶため、10 企業の協力を得て、10 月 4 日と 5 日の秋休みを使い、「秋休み企業訪問研修」を実施しました。研修後レポートから参加者の感想を紹介します。

「今回の訪問では働き方と健康への取り組みについてお話して頂きました。働き方改革のお話では名前だけしか

知らなかったことの内容や現実的なことを具体的に教えて頂きました。まず働き方改革は短期間では行うことが難しく長期戦になるということが現実だなど思いました。それは幾つかの課題があるからです。日本には長時間働いている＝頑張っているという価値観があったり、システムの故障などによるやむを得ない休日出勤があったりするそうです。その中で行われている取り組みの中で私が一番印象に残ったのは立ち会議機です。立ったまま会議をしようとする、しんどくて早く終わらせたくらい、会議の時間が短くなるそうです。健康への取り組みは本当にたくさんありました。セミナーの実施、職場でエクササイズなどの中でいいなと思ったのが勤務時間中にマッサージをしてもらえることです。どの取り組みも社員が健康だと社員にも会社にもいいことがあるという考えのもとで行われているそうです。この訪問で深い知識を得られて本当によかったです。」



SGH ニューヨーク研修 (1/1-6)

私達は、Diversity & Inclusion (多様性と社会的包括) をテーマにした研修を体験してきました。MOCA (中国系アメリカ人に関する博物館) や TENEMENT MUSEUM (アイルランド移民が暮らしていたアパート) などの見学を通して、ニューヨークの多様性を豊かにした歴史だけでなく、人々が多様性を受け入れることができなかった過去の事実について学ぶことができました。また、多様性を受容し活かすための取組を行っている学校や企業の方々との交流によって、人種や性など多様性があって当たり前であるという教育を行うことの必要性や、マイクロアグレッションという悪意のない小さな差別的な言動をどのように減らしていけばよいかなど、多様性に関する様々な課題が見えるようになりました。今回の研修で私が一番印象に残った活動は「I am...」から始まる文で文化的背景や人種、宗教、家族構成などの自己紹介をするというものです。初めはこの活動が Diversity & Inclusion とどのような関係があるのか分かりませんでした。自分が何者なのかを表現するときに自然と「認めてほしい、受け容れてほしい」と感じたことから、自分を確立することで他の人との違いを受け容れられるようになるのではないかと思います。ニューヨークという日本とは異なる土地で、教育者や民間企業、NGO など様々な立場の方とともに研修を行うことで得られた新たな気づきや学びを、将来の私たち、そして社会に活かしていきたいです。

2 年 万見望実



スーパーサイエンスハイスクール (SSH) の取組

「スーパー・サイエンス・ハイスクール (SSH)」(平成 22～27 年度指定) で開発したプログラムを継続し、「科学への興味・関心を高め、自ら科学的に探究する力の向上をはかり、将来、科学・技術の幅広い分野で活躍し、国際社会の発展に貢献できる人材の育成」をめざしています。平成 29 年度に第 2 期の指定を受け、総合科学科だけでなく、国際文化科の皆さんにも参加できるようになりました。学問に対する興味や関心を高めるために様々な取組を行っています。

○サイエンス・レクチャー (大学教員や企業の技術者の方による講演) ○サイエンス・キャンプ
○大学との連携授業 ○海外の科学系高校との交流 (国立中科実験高級中学(台湾)他) ○高校生研究, 研究成果の発表, 科学系コンテストへの応募 ○小・中学生対象実験教室や観覧会, 他校との交流

SSH 北海道研修旅行 (8/5-7)



SSH 北海道研修旅行に参加しました。この研修のテーマは「宇宙」です。北海道大学の学生や教授の方からお話を伺いました。私たちが訪問した理学部

地球惑星科学科では、宇宙や惑星、地球についてだけでなく岩石や鉱物など、さまざまな専門分野に分かれて研究が行われていました。同じ学部、学科でも研究しているものが人それぞれ異なっていることは非常に興味深かったです。お話の中で特に印象に残っているのは火星についての内容です。地球のある砂漠と、火星の写真は見比べてもどちらが地球かわからないほど似ていました。初めて火星儀というものを実際見て触って、火星にも山脈などにひとつひとつ名前がつけられていることを知り、驚きました。講義の後、名寄市立天文台へ移動し北海道大学の高木先生から講義を受けました。アマチュア天文愛好家のことや金星のことについてこの講義で学びました。一般の人がたくさん超新星爆発を発見したということに驚きました。今回の研修の楽しみにしていた天体観測では火星、金星、土星などの天体をはじめとした多くの星を観測しました。今年度は火星大接近の年であったため私にとって二度とできない体験をすることができたと思います。大阪では絶対に見ることができない夜空に感動しました。また、口径 1.6 m もあるピリカ望遠鏡の見学もさせて頂きました。望遠鏡で見える景色をパソコンに通して観測しているところを私は初めて見ました。とても新鮮でした。この研修では、大学で研究している学生さんの生き生きと学ぶ姿とても印象的でした。さまざまな分野が研究されていることは知っていましたが、「宇宙」というテーマのなかでも金星だけを専門にする人や、岩石の成分について調べる人、いろいろな人がいて面白いと思いました。また、1 つの事例や問題に関して異なる考えを持つ人が多く、いろいろな意見を交流することが研究の発展や新しい発見につながるということを学びました。 1 年 入江由佳梨・久留島夏希

大阪サイエンスデイ大阪府生徒研究発表会 (10/20, 12/23)

私は大阪サイエンスデイに参加し、化学発光について発表しました。そこでは 1 部と 2 部に分かれており、1 部ではポスター発表、2 部では口頭発表を行いました。1 部の発表では分野ごとに多くの発表があり、全ての発表を聞くことは出来ませんでした。興味深いものが多くありました。自分たちの発表では多くの方が見に来てアドバイスをくださいました。そのアドバイスも参考にしながら何度も発表していくうちにどのように話せば相手に伝わりやすいかなどを少しずつ掴めました。また、審査員の方に発表

した際には以後の研究のヒントになるようなアドバイスをいただくこともできました。そして、そのアドバイスを参考にして 2 部までの期間に研究を進めました。2 部は口頭発表だったため、パワーポイントを作成する必要がありました。そのため、パワーポイントを作り発表練習を先生方に見ていただき、どうすればより伝わりやすいかなどのアドバイスを貰ったりしながら、何度も修正を重ねて完成させました。2 部の発表ではパワーポイントのレイアウトの工夫や発表の仕方など様々な面で学ぶ事がありました。大阪サイエンスデイに参加したことで私たちの研究はより良いものになったと感じています。また、専門的なことだけでなく、伝わりやすい発表の仕方なども学ぶ事ができ、とても良い経験になりました。 2 年 山内大輝

SSH オーストラリア研修 (1/2-6)

この研修旅行は自然をととても近くに感じることができ、普段できない体験がたくさんありました。常に非日常であった今回の研修は、理系である私の好奇心を刺激し、自然保護に対する興味・理解を深めました。マンガリーフォルズでは、現地の高校生とアウトドアスポーツを楽しみました。完全に言葉が通じない人とアウトドアスポーツをするのは初めてで、自然で遊ぶことの楽しさだけでなく、コミュニケーションの楽しさも実感しました。キュランダ村散策ではオーストラリアの文化を楽しみました。この村では、手作りのお土産品がたくさん売られていました。昼食にクロコダイルのカレーを食べた後、カンガルーから作った毛皮のポーチなどを見てみると、充分あると思っていた散策時間もあっという間でした。キュランダ高原鉄道からは、熱帯雨林の中を走りながら、大きな滝や高原から見える平野など様々な美しい景色が見られました。また客車には窓ガラスがありません。風を浴びながら列車旅を楽しむというのは日本ではなかなかできない体験です。ミコマスケイでは、シュノーケリングを体験するよりも先に、砂と海鳥から成るミコマスケイと海の美しさに感動しました。あれは、日本では見られない、オーストラリアに行ったからこそ見られた景色です。本題のシュノーケリングですが、私は日本でも経験がなく、若干の緊張と大きな期待を胸に潜りました。ミコマスケイは岸から数十メートルの近い所にもうサンゴがあるような土地で、こんなに近くでサンゴを見られるのかと驚きました。全体を通して、「日本ではできない体験」がたくさんあった今回の研修はとても楽しく意義深いものでした。日本に帰ってからもう一度行きたいという思いが絶えません。 2 年 植田 真生史



外国人スタッフ・留学生・最新機器・設備等

外国人スタッフ



千里高校にはネイティブスピーカーの先生が3名います。授業中はもちろん、放課後や昼休みにも話すチャンスがたくさんあります。国際文化科スタッフルームに常駐していますので、ぜひ気軽に声をかけてください！先生方からのメッセージ（写真左から順に）

Shivana Jalim:

Hi there! I'm Shivana and I'm from the Caribbean islands of Trinidad & Tobago. I enjoy watching dramas/movies and going to karaoke. I can't wait to meet you! ☺

Narin Na Ranong:

Hey! I'm Narin and I'm from Melbourne, Australia. I love food, coffee, karaoke, and taking pictures! Please come by the office and say 'hi' any time!

Sophie Ang:

Hey guys! I'm Sophie. I look Japanese, but I am not! I come from Toronto, Canada. I love dancing, eating chips and going to Tokyo Disney! Let's enjoy English together. See you in Senri (^▽^)o

体験留学生／ありがとう千里

私はキアラです。AFSの留学生としてアメリカから日本に来ました。10か月前に私は初めて千里高校に来ました。千里高校に来て本当にラッキーだったと思います。初めはとても緊張していましたがすぐに友達が出て、毎日とても楽しかったです。友達の英語の授業の宿題を手伝ってあげましたが代わりに友達は現代文や生物の宿題を手伝ってくれました。2年生のみんなと友達になれて私の日本語はだんだん上手になりました。テストもみんなと同じ日本語で受けたので難しいけど頑張りました。そして、先生たちは私がわからない時には、いつも優しく説明してくれました。お陰で千里高校で過ごした10か月はとても良い経験でした。できたら、3年生も千里高校で学びたいです。みんな、3年生頑張ってください！本当にありがとうございました！



体験留学生 2年 キアラ・ウッドマン

ICT機器・実験設備



本校では多くの機器・設備を活用した教育を行っています。

- ・コンピュータ教室は4つあり、情報・英語・社会・理科・探究など様々な教科で利用されています。放課後も生徒が調査やスライド制作などのために使うことができます。

- ・全員が入学時にタブレットコンピュータを購入します。英語を始めとする映像・音声・文字データがプレインストールされていて学習に利用します。数学の参考書もタブレットで読めるようになりました。また、校内Wiiを使って教材を受信・ダウンロードしたり、課題を提出したり、アイデアを共有したりするのに使われています。また、1、2年の教室には大型テレビが、3年の教室にはプロジェクターが配備され、タブレットのデータを無線で送って一緒に見ることができ、授業や発表会・HR活動に使われています。

- ・さらに、理科棟には大学でしか見られないような実験器具・機器があります。また自習のための第二図書室、プレゼンテーションルーム、合宿も可能なセミナーハウスもあります。

千里高校のホームページへようこそ！

学校行事や国際交流の様子をはじめ、様々な千里高校の活動を紹介する公式サイトです。国際文化科、総合科学科の説明はもちろん、常に最新の情報をブログの形で写真と共にお伝えしていますので、このホームページを見れば千里高校のすべてがわかります。まだ見たことがない人は、ぜひ一度アクセスしてください。

<https://osaka-senri-hs.net/>



大阪府立千里高等学校

〒565-0861 大阪府吹田市高野台 2-17-1 TEL 06-6871-0050 FAX 06-6871-2587

公式Webサイト <https://osaka-senri-hs.net/>